

びスペイン語版のREVISTA ROTARIA がそれである。」となつて居ります。編集方針については「雑誌は、各ロータリアンにロータリーの綱領及び奉仕の理想を注入する事を推進し且つ努めなければならない。それは、国際的特質を強調しつつロータリーの既定計画を支持し発展せしめなければならない。斯様な方針は、大会及び理事会の決定事項を反映し、且つ四つのテストによつて判断されなければならない。(以下略)」となつて居ります。

次いで**広告方針**が詳細にわたつて書述されて居り結論的にはロータリアン誌上での広告という項目で「理事会(1967~68)は下の如し合意した、広告の勧誘、掲載に当つては、国際ロータリーは、既定方針に添うよう、慎重に判断して来たり、又判断するものである。国際ロータリーは、誌上に掲載された広告主、商品又は営利的申し出を保証したことなく、又保証するものではない。国際ロータリーは、雑誌の広告欄をもつて提供された商品や役務に関して、財政的責任又は義務を引受けたことなく、又引受けるものではない。」と述べて居り掲載に関するすべてを言いあらわして居ります。以上

パンフレット「No.35-」より引用して申し上げます。さて我々がロータリー文献を活用する段になりますと、言語の相違、翻訳の技量その他多くの障害がその活用を困難にして居るのであります。此の事実に対して或るバスターガバナーは「ロータリーの友」に次の様な意見を寄せて居り一部省略のまま御知らせ致します。「ロータリアンがロータリーの事を知らないのでは交通規則を知らないドライバーのようなものである。

ロータリアンには一般的資格の外には別に知識についての条件はない。つまりは自分で勉強する以外はないのである。その勉強の素材とも道具ともなるのがロータリー文献である。(略)

私がかつて1965年に国際ロータリーの文献委員をした時に、中央事務局から送られて来た文献の種類と、数量の多いのには警ろいた。これに全部目を通すという事は、別に自分の仕事を持っているロータリアンには到底出来ることではない。またその必要もない。(略)私はこのように数多くの文献を、特殊の人は別として、一般のロータリアンに読めといつても事実上無理なので、基本的に必要な事項だけを要約してロータリアン必携のようなものを作つたらと提案した(以下略)」と書いてあります。誠に我々にとつては身につまされる提案であり、実現を切望するものであります。最後に雑誌週間の運営については「ロータリー問答」の293ページに掲載されて居りますので、御参考にしていただきたいと思ひます。

次いで侯野会員により文献活用のデモンストレーションとして興味ある記事の紹介が行われた。今回はTHE ROTARIAN 1970.11月号に掲載されたCharles S. Stevenson氏の「サービスは必ずこへ」という記事の読後感でありました。世界各国のサービスの様々を述べたものであり誠に興味ある読みのものであります。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率%
46. 1. 27	44名	38名	6名		
46. 1. 20	44名	32名	12名	9名	93.18%
在函クラブ	(1/14) 函館R.C. 89.12%	(1/19) 函館東R.C. 96.42%	(1/15) 函館五R.C. 祝日休会		

次回例会日 2月10日
プログラム 「急性腹症について」
遠藤会員

The Weekly Report

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル8階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870



of Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 2 10

1970~1971 第32号

第336回例会

BRIDGE THE GAPS

隔りを取り除こう

(ウオークR.I.会長指針)



R.K

立待岬

角谷隆一会員

本日のプログラム

「急性腹症について」

遠藤尚義 会員

第335回例会記録

- ◎司 会 木屋守迪会長 ◎斉 唱 奉仕の理想
- ◎ビジター 中湧別R.C. 浜田清治君 (缶詰製造)
小樽南R.C. 小松 清君 (保存食料品製造)
士別R.C. 岡田小治君 (酒類販売)
函館R.C. 葛西知二君 他5名
函館東R.C. 蓬台俊作君 他6名

◎ニコニコボックス

- 誕生祝 藤林会員、本間会員、おめでとうございます。
- 結婚祝 藤林会員、山本会員、おめでとうございます。
- 入会記念 角谷会員、下郡山会員、おめでとうございます。

◎新入会員紹介

推薦者 平野義勝 幹事

氏名 山本 克己
やまもと かつみ
住所 函館市人見町5番9号 TEL 52-1560

生年月日 昭和2年1月27日生

勤務先 日本専売公社函館工場 工場長

学歴 北海道大学卒業(昭和25年)

趣味 釣、ゴルフ、郷土史

結婚記念日 2月20日

ご家族 奥様 山本正子 昭和4年11月12日生
長男 山本高志 昭和31年11月17日生 中学生
次男 山本正紀 昭和35年7月13日生 小学生



◎幹事報告

1. 我が日本にロータリーが出来まして50年に成ります。昨年9月の年次大会で決議事項に成つておりました、「ロータリー日本50年史」を発注することに成ります。一冊2,000円(各自ご負担いただきます)全会員の分を代払致しておりますので次回例会日にもお払下さいますように。
2. 先般来、ご案内の通り、本日、P.M.6:00~8:30(於)湯の川「鱈」にて第4回クラブアツセンブリーを行います。
3. 例会終了後理事会を行います。

◎ローターアクトクラブ結成式に出席して

市川芳夫 会員

先般1月27日(河野道正ガバナー出席のもと)P.M.6:00より市民会館に於いて、函館東R.C.がスポンサーになり、我々分区としては、はじめてのローターアクトクラブ結成式典が行われました。(当クラブ7名の出席)会員数44名で、これからのR.C.のジュニアとして、今後の活動が大いに期待されるものと思います。

★危険な抜け穴

(ロータリーあれこれヨリ)

ロータリアンたる皆様はどなたも品性高潔、事業上令名ある方々であつて円満な常識をお備えで、ロータリアンであることを誇りとしているとは言いが、自分は一般衆愚とは異なる、選ばれた人であるなどと高慢な態度には出ていない筈であり専ら奉仕の理想の実践に努めておられる筈である。然しロータリーがどうかすると非ロータリアンから誤解を受けることがある。それは御夫人方の言動から生ずることがとますればある。

ロータリアンの方の奥様がお隣りの奥様に「うちの主人はロータリアンでございますよ。ロータリアンと申しますと、偉い、お金持の方々の会でございますそうで、などという。こんな露骨な煽りをつたお隣りの奥様は甚だ面白くない。『何をしているんだか知らないけれど、毎週集つて昼飯を食べているだけじゃないの。おまけに時々酔っぱらつておそく帰つたりして。ロータリアンなんてフンだ。』と思う。

これはロータリアンが奥様に対してロータリー情報の流し方が足りないから起こる家族会に連れていらつしやるのも結構、時には例会へ同伴でいらつしやるのも結構。The Rotarianや、ロータリーの友、は事務所の戸棚に投げこんでおかないでお宅へ持つてお帰りなさい。充分奥様を教育しておかないとロータリーの祝賀会でお酒を飲むことも出来なくなるから。

◎例会日変更のお知らせ

1. 函館五稜郭R.C. ~ 2月12日の例会は夜間例会として18時より(於、五稜郭ホリタ、サファイヤルーム)

1. 滝川 R.C. ~ 2月11日の例会は祝日休業

1. 浦和東 R.C. ~ 5月9日12時(於、浦和市埼玉会館大ホール)

1. 雲仙 R.C. ~ 4月3日13時半(於、雲仙国際観光会館)

浦和、雲仙両クラブともチャーターナイト挙行 登録料 4,000円

◎卓話 「雑誌週間について」 遠藤尚義 会員

6日の菖蒲と云うことがございます。雑誌週間も先週で終わりましたけれども、5月5日の節句まではお風呂に菖蒲を入れておくのもいいでしょうがもう6日目はすでにさまになりませんか。私の話も同様ですが、雑誌週間は、もう皆さんご存じの様に、ロータリーの機関誌であります。

『The Rotarian』と『Revsta Rotaria』に対して会員の理解を深めていただいて、1部でも2部でも多く売り込むと云うのが目的であります。ところが実際には非常に問題がありましてなかなか思うにまかせないと云つてもいいと思うのです。

1911年(明治44年)に創刊に成りまして来、現在アメリカでは、34万8千761部読まれているそうですが、日本では1万671部出ていると云われます。はたしてそれがどの程度読まれているかと云うことです。日本的に考えて、この「雑誌週間」を別な角度から我々は考えなければならぬのではないかと考えるのです。

数字の上では1万671部出ている『The Rotarian』どちらかと云えば親しみにくい反面「ロータリーの友」は日本語であるし、ほとんど全会員が読んでおられます。

この「ロータリーの友」を機関誌としてほしいと申し入れましたがあつざりと蹴られてしまいましたけれども、今や我日本が第2位のロータリー国となり「ロータリーの友」が多読されているのですから、やはりこれが機関誌として認められ、そしてこれが中心となつた雑誌週間は開かれるべきで、アメリカなどが考えている様なそんな雑誌週間はだめで、やはり何んと云つても、我々日本人が考えた、そして日本人、日本の為の雑誌週間と云うものを、もうすこし考え検討しなければいけないのではないかと考えるのです。

次期役員選挙について

ロータリークラブ細則、第一条に理事及び役員の選挙があります。この選挙の方法はどのようにしたらよろしいでしょう。

木屋会長より提案あり、会場より指名委員会を作つたら良いと云う意見が出て、指名委員会の指名は会長一任と決定し、会長より

俣野会員、遠藤会員、野村会員、市川会員、平野会員の5名が発表され、オブザーバーとして会長も一緒に別室にて協議された。約10分後に5名を代表し俣野会員より発表され次の7名の方に決定する。

会長の木屋会員、幹事の平野会員、副会長の船矢会員、理事の市川会員、同じく理事の野村会員、森(正)会員、本間会員です。

理事候補に選出された方々で次回の年次総会の1週間前迄に、会長、幹事、副会長を決定し、3月15日迄ガバナー事務所の方に連絡することになつております。

隔りを取り除こう

近い将来必ず来るであろう我々の機関誌に「ロータリーの友」が、皆さんもうすでにお読みになつてなるほどに感じられたことでありましょうが、12月号ロータリーの友21ページ(岡田治夫)ここであえて取り上げて読んでいただき

たいと思います。

R. I. 会長のテーマ「Bridge the Gaps」はまず会員相互の融りから始まり、最も身近かな面から着実に取り除かれ「胸襟を開いて語ろう」の一語は全く味のある言葉である。

毎週例会の卓話が85%以上も、ゲストスピーカーで埋められることは、全く反省すべきであり、会員相互の卓話こそ隔りのない信頼交流の場というべきであろう。自ら真つ裸になつて持てるものを全部知つて貰う努力こそ友愛につながる第一歩である。また例会日の夕食は、必ず家庭のロータリーの夕べと定め、一家揃つてテーブルを囲み、今日の卓話を中心に話題を飾ることは家庭での隔りを除く具体的な方法であり、しかも、ロータリー理念を各家庭に直結させるものと云えよう。

こんな方法が、もしも、ロータリアンの関係する職業メンバー内に組織づくられるならば、「隔りを取り除こうは足元から」の素晴らしい成果となるであろう。

私共の生活の中から「隔り」について静かに考えて見るならば、夫婦、親子、職業集団、地域など、どこにも見出すことができ、しかも日本の住宅の一軒一軒が、高いブロックの塀に囲まれ、「見せまい、見られない」主義に満ち溢れた生活形態そのままが、心と心の触れあいに大きな隔りとなつて居ることは誰れもが気付く筈である。

ロータリーと地域社会との隔りは「胸を開いて話そう」から出発して「ともに歩こう」まで発展させる事が必要である。

青少年、交通、公害の諸問題など、すべてが「隔りを取り除こう」の実践から始まつて、美しい互譲と友愛の結びとなることを期待し、私共ロータリアンは、まず自己の生活面のギャップを埋め、一日一日の暮しの中から第一歩を踏み出すべきである。そして奉仕に、友愛に、東に、西に手をつなぎ、幸せの光りに満ち溢れることこそ、唯一の念願である。

先般第四回クラブアツセンブリが湯川「鱗」で行われ、議題1.の会費値上の件については会計の福田会員より説明の後、活潑な討議があつた。

新年宴会に入り、美女の踊、自慢の喉を振わせるなど本当に楽しかつた。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率%
46. 2. 3	45名	31名	14名		
46. 1. 27	44名	38名	6名	4名	95.45%
在函クラブ	(1/21) 函館R.C. 90.24%	(1/26) 函館東R.C. 96.47%	(1/22) 函館五R.C. 100.00%		

次回例会日 2月17日
プログラム 「創造について」
近藤元教授

The Weekly Report

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル8階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870



of Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 2. 17

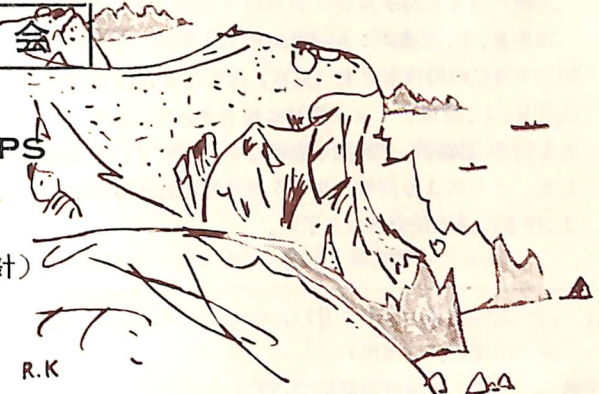
1970~1971 第33号

第337回例会

BRIDGE THE GAPS

隔りを取り除こう

(ウオークR.I.会長指針)



立待岬

角谷隆一会員

本日のプログラム

「創造について」

北海道教育大学函館分校 近藤元教授

有益なことは飾りのない口からでる事が多い シラー

第336回例会記録

- ◎司会 木屋守迪会長 ◎斉唱 手に手つないで
- ◎ピジター 中湧別R.C. 浜田清治君 (缶詰製造)
洞爺湖R.C. 菅谷敬三君 (喫茶店)
函館R.C. 大鎌又一君他7名
函館東R.C. 小泉新一君他8名
函館五R.C. 村田栄司君

◎会長報告

当クラブ俣野会員宛に鹿児島県鹿屋R.C.より会報が参って居ります。仲々ユニークな編集ですので御参考迄と廻覧致します。